

みずほCustomer Desk Report 2022/06/27号(As of 2022/06/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	135.23 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.81	1.0520	141.83	1.2262	0.6904
SYD-NY High	135.40	1.0571	142.75	1.2319	0.6956
SYD-NY Low	134.36	1.0513	141.41	1.2243	0.6889
NY 5:00 PM	135.21	1.0558	142.67	1.2273	0.6941

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,500.68	823.32	日本2年債	▲0.0800%	0.0100%
NASDAQ	11,607.62	375.43	日本10年債	0.2200%	▲0.0100%
S&P	3,911.74	116.01	米国2年債	3.0622%	0.0508%
日経平均	26,491.97	320.72	米国5年債	3.1858%	0.0455%
TOPIX	1,866.72	14.98	米国10年債	3.1367%	0.0488%
シカゴ日経先物	26,930.00	675.00	独10年債	1.4355%	0.0110%
ロンドンFT	7,208.81	188.36	英10年債	2.3010%	▲0.0075%
DAX	13,118.13	205.54	豪10年債	3.7050%	▲0.1490%
ハンセン指数	21,719.06	445.19	USDJPY 1M Vol	12.54%	▲0.89%
上海総合	3,349.75	29.60	USDJPY 3M Vol	12.53%	▲0.64%
NY金	1,830.30	0.50	USDJPY 6M Vol	11.88%	▲0.48%
WTI	107.62	3.35	USDJPY 1M 25RR	▲1.51%	Yen Call Over
CRB指数	298.55	1.86	EURJPY 3M Vol	12.88%	▲0.45%
ドルインデックス	104.19	▲0.25	EURJPY 6M Vol	12.46%	▲0.28%

東京	東京時間のドル円は134.81レベルでオープン。五・十日ということもあり、仲値にかけてドル買いが強まり、一時135.22まで上昇。ただ勢いは続かず、前日の欧米のPMIの結果を受けた景気後退懸念等を背景に134.55まで下落する場面も見られたが、一服すると134円台後半での推移に。方向感のない値動きが続き、結局オープンと同水準の134.80レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.80レベルでオープンし、動意に乏しい値動き。朝方は米長期金利が低下するとドル円も連れ安となり、東京時間安値の134.55を割れると一気に134.36まで下落した。しかし、米長期金利が上昇に転じるとともにドル円も押し目買いが入り、すぐに135円台を回復し、135.23レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台後半でスタート。東京仲値にかけて135.22まで買われたが、買いが一巡するとすぐに134円台に沈み、欧州時間では米金利低下もあいまって一時134.36をタッチ。134円台での底堅さが確認された後、米金利の持ち直しとともに買い戻しが進み135円を回復し、135.23レベルでNYオープン。朝方は方向感無くスタート。しかし、米景気の先行きが市場で注目される中、ミシガン大学が発表した消費者マインド指数や期待インフレ率の6月分確報値が予想を下回ると売りで反応し、134.72まで下落する場面もあったが、米金利上昇や米株の堅調推移が下値をサポートされ、直ぐに下げ幅を取り戻す。午後は高値を135.40まで更新する場面もあったが、週末を控えていることもあり、135円台前半で推移。結局、135.21レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.05台前半で底堅く推移。早朝には1.0555まで上昇し、1.0518レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の予想下振れからドルが売られ、1.0571まで上昇するも、米金利上昇が上値を抑制。午後は1.0550近辺で小動きとなり、結局1.0558レベルでクローズ。

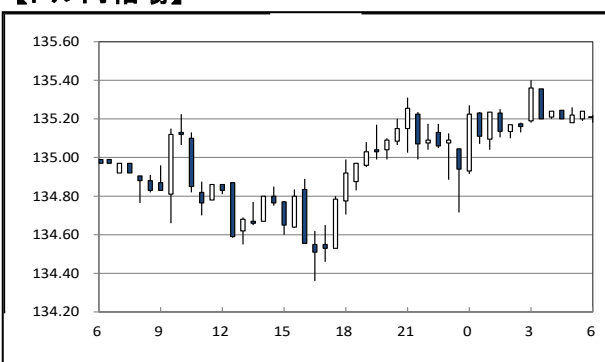
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月24日	08:30	日 全国CPI	5月 2.5%	2.5%
	08:30	日 全国コアCPI	5月 2.1%	2.1%
	08:30	日 全国コアコアCPI	5月 0.8%	0.8%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 50	50.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 696k	590k

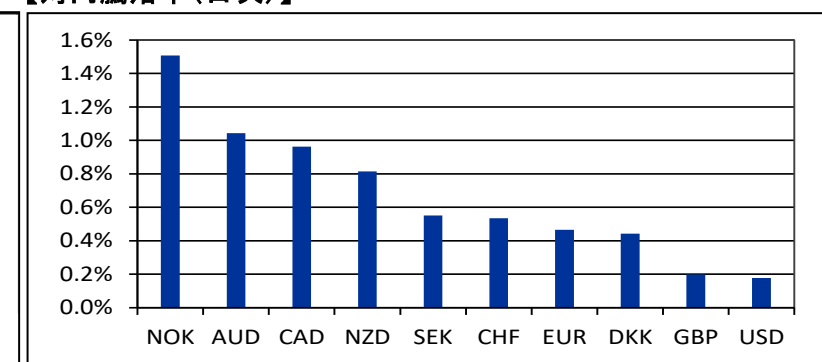
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月 0.2%	0.5%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	5月 0.3%	0.4%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 -3.9%	-3.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-136.50	1.0510-1.0610	142.00-144.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は134.81レベルでオープン。5・10日のドル買い需要に仲値にかけ135.22まで上昇するもその後は134円台後半で方向感なく推移。海外時間に入り、米10年債利回りの低下を横目にドル円は134.36まで下落も、134円台の底堅さが意識されるとその後135円台を回復。発表されたミシガン大学期待インフレ率が市場予想比弱く、再び134円台まで下押しも、新築住宅販売件数は強い内容となったことから、米株式市場が上昇してドル円は135.40まで上昇すると、135.21レベルでクローズした。

本日のドル円は底堅い推移を予想する。四半期末を前に米株式市場は上昇しており、クロス円とともにドル円も上昇する展開を基本線としたい。ただ、米経済指標の弱い結果が続く中、本日の米5月耐久財受注等の指標も同様に弱含み、根強い景気後退懸念に拍車がかかればドル円は一時的に下落する可能性があり注視したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木 逸見